

# 災害報道を考える 117と311をつなぐもの

阪神・淡路大震災の時には泊りデスクとして緊急放送を指揮。最前線で様々な課題と向き合ってきた。そして東日本大震災でも、発生の翌日から東北の現場に1人で乗り込み、災害報道の難しさを痛感した。117と311を通して、われわれ報道従事者が突き付けられた重い課題とは何なのか考える。

講師

読売テレビ報道局 解説副委員長

春川 正明 氏

春川正明氏 Profile (はるかま さあき)

- 1961年大阪府大阪市生まれ。関西大学社会学部卒業。1985年読売テレビ入社。報道局撮影編集部、報道部記者、NNNロサンゼルス支局長、報道局チーフプロデューサーおよび報道部長を経て2007年から解説委員。現在は全国ネット「情報ライブ ミヤネ屋」にニュース解説としてレギュラー出演中。



日時

2015年  
12/14(月)  
13:00~14:30

申込不要  
入場無料

場所

関西大学  
高槻ミューズキャンパス  
西館3階 M303

■事務局 関西大学社会安全学部 [http://www.kansai-u.ac.jp/Fc\\_ss/](http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/)  
高槻市白梅町7番1号 TEL 072-684-4000

車やバイクでのご来場はご遠慮願います。公共交通機関をご利用ください。キャンパス内は、一部を除き全面禁煙です。ご協力をお願いいたします。

後援 高槻市